

牧之原 だより

第 20 号

平成8年7月1日

発行

牧之原畑地総合整備土地改良区

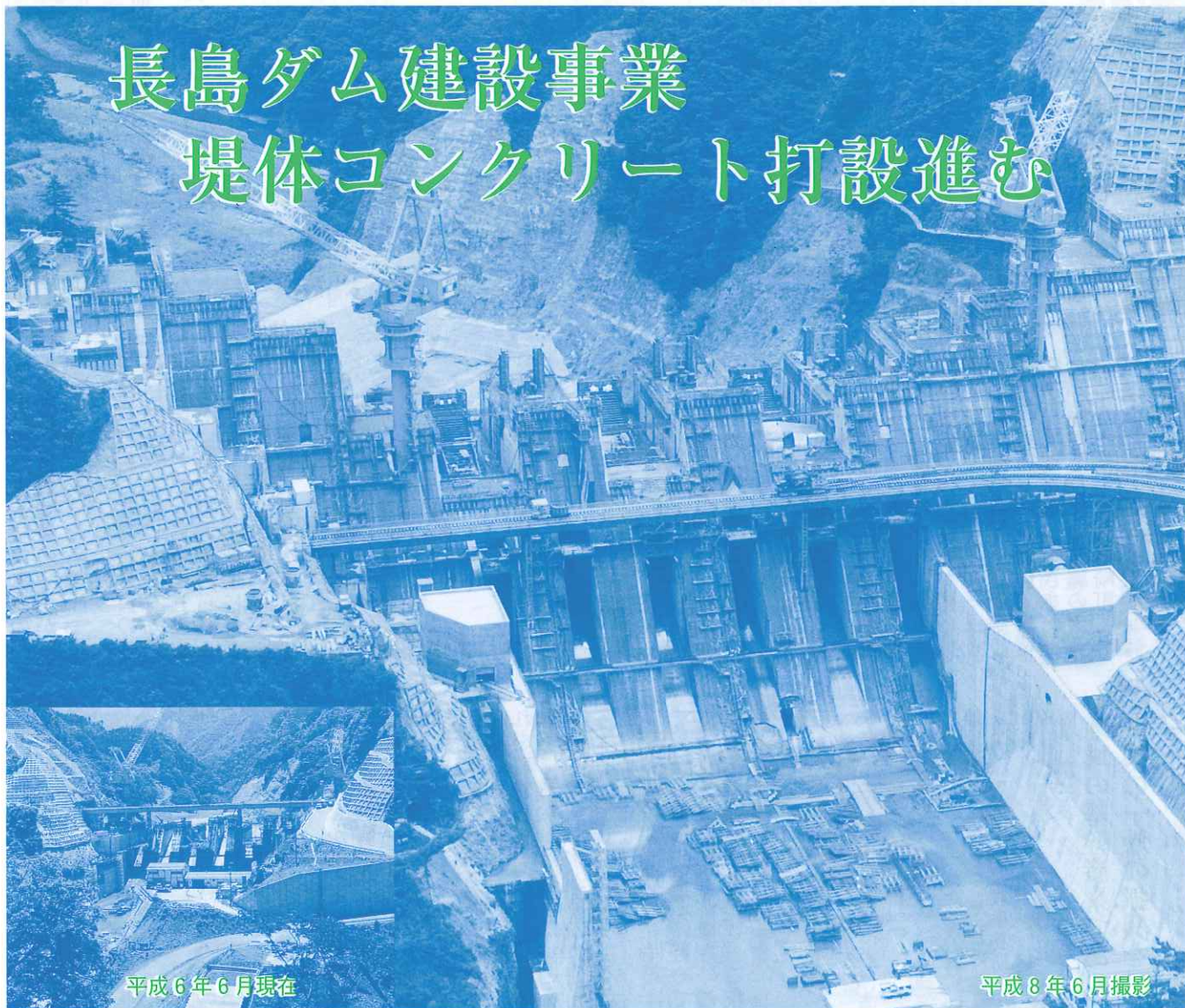
〒427

島田市 1 7 2 6 - 4

☎ <0547> 36-0984(代)

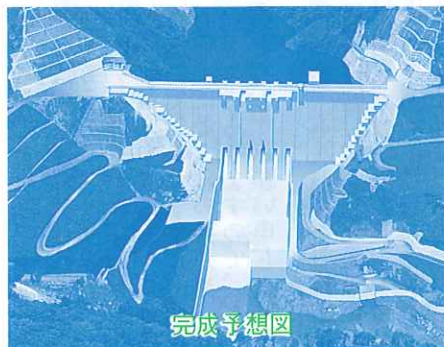
FAX <0547> 36-0830

長島ダム建設事業 堤体コンクリート打設進む



平成6年6月現在

平成8年6月撮影



完成予想図

水源確保に向け
早期完成を

平成四年六月より本格的にダム本体のコンクリート打設が始まりました。完成しますと、堤高百九メートル、頂部三百八メートルの規模となります。

左下の平成六年六月時点と比較すると、兩岸の堤頂部までコンクリート打設が進んでいることがわかります。

水源の安定的確保に向け、長島ダムの早期完成が望まれます。

(平成八年度事業計画については六面に記載)

ごあいさつ



牧之原畑地総合整備土地改良区

理事長 岩村 越司

水源確保と末端整備により 早期効果発現を

土地改良区組合員の皆様方には、常日頃、国県営牧之原畑地総合整備事業の推進と改良区運営にご協力ご尽力を戴いておりますことに深く感謝申し上げます。

一昨年に引き続き二年連続の少雨高温の異常早ばつに見舞われ永年性作物の茶樹にもその影響が顕著に現われ、各地で茶樹が枯れる被害が発生しました。この少雨は本年の春先まで続き、本年は更に相次ぐ寒波の来襲により異常低温が続く茶の生育が阻害され、一番茶の収穫も平年に比べ十日から二週間も遅れる状況であり収穫量への影響を危惧しているところでございます。

改良区といたしましては、被害防止のため用水確保に可能な限り努めてまいったところでございます。

今後、一刻も早く、安定した水源確保と末端用水施設整備の促進を図ることが緊要と考えております。

基幹事業であります国営事業は、昭和五十三年度着工以来十八年が経過し、愈々、平成九年度完工に向け着々と整

備され、現在進捗率は九十パーセントとなっております。

また、県営事業は、昭和四十八年着工以来二十三年が経過し、進捗率は五十パーセントと着々整備が進められております。

一方、建設省直轄の水源であります長島ダムも本体コンクリート打設が進み七十七パーセントの進捗となっております。これも偏に、国、県、市町など関係者のご尽力を初め土地改良区組合員の皆様、総代、理事の皆様方の事業に対する熱意の賜と深甚の敬意を表するところでございます。

牧之原台地への導水は、開

こん以来百二十有余年の歴史で一番画期的な事業で二十一世紀の開発を先取りするものであり、新しい農業を展開する上での役割を大いに期待するものであります。

平成八年度におきましては、国、県営事業の推進は勿論のこと、造成施設の適正な維持管理を遂行すると共に、静岡空港計画を始め他事業調整、長期化する事業対応など課題も山積しており、国、県、関係市町のご理解とご協力を戴きながら対応していくこととしております。なかでも、一昨年来の渇水対策を踏まえ、

水源確保と末端整備水準の向上により早期効果の発現が緊急の課題であると考えております。

結びにあたり、組合員の皆様におかれても、水の有効利用を図って戴き農業経営の安定、更に地域振興が図られるよう今後とも事業推進に、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



関東農政局
牧之原農業水利事業所

所長 伊藤 幸治

国営事業の完了に向けて 関連事業の推進を

組合員の皆様には、常日頃国営事業の推進にご協力をいただき感謝申し上げます。

私、このたび所長を拝命いたしました。静岡県下での勤めは初めてですが、一大茶園からなる牧之原台地の用水事業に携わることができました。何を、誇りに感じております。何とぞよろしくお願いいたします。

さて、国営事業は主要施設がほぼ完成し、いよいよ事業完了が間近に迫ってきました。一昨年の五月には念願の大井川の水が南端の御前崎町まで到着しました。今年度中には幹線水路の整備をほぼ終え掛川幹線水路の一部を除き、

全域に配水できるようになる見込みです。しかし、水の有効利用を図るためには、県営での畑地かんがい施設の整備が必要となります。この推進が急務となっております。

地球温暖化の影響が、近年世界各地から異常気象のニュースが伝わってきます。牧之原台地においても、二年続きの早ばつで樹勢が弱ったところへ、四月の凍霜害が追い打ちをかけたため、新茶が大きな被害を受けました。その中で、かん水を十分に行った茶園では被害が軽微で済みました。

農家の収益は天候に大きく左右される宿命を持つが、これを克服して安定した経営基盤を構築するためには、一日も早く全域で水が自由に使えるよう、整備を進める必要があります。

最後に、事業の完了に向けて一層の効率的推進に努めてまいりますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



静岡県
牧之原農業用水建設事務所

所長 大橋 聡

地域の基幹産業である 茶業の一層の振興を

組合員の皆様方には、日頃

から県営畑総事業の推進に格別なご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この四月の異動で、事務所長を命ぜられました。もとより微力ではありますが、事業の推進に最大限の努力をいたす所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本県の荒茶の粗生産額は、国全体(平成六年値で一四二五億円)の五十一%を占め全国一位であります。中でもここ牧之原地域の荒茶粗生産額は、国全体の十四%を占めていて、茶業はまさにこの地域の基幹産業であります。

茶業を取り巻く環境は、産地間競争の激しさが増すなど、今後、厳しくなるものと考えられますので、省力化による経営基盤の強化や、担い手の育成などを進め、競争に勝てる茶業の確立、振興が重要な課題であると認識しております。

県営畑総事業は、その基礎的条件としての、農道や畑地かんがいなどの生産基盤の整備を進めてまいりました。

このような中、平成九年度には国営事業が完了の予定であります。一昨年、昨年の渇水を考えますと、一日でも早く用水が利用できるよう、予算の増額、確保に努め、畑かん末端施設と併せ基盤の整備に全力で取り組む所存であります。

皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

土地改良区の予算・決算について

(平成8年3月21日総代会議決)

平成6年度一般会計収支決算

収入総額 1,544,805,282円
 支出総額 1,540,940,475円
 差引残額 3,864,807円

(単位:円)

収 入	決 算 額	支 出	決 算 額
1. 組合費	777,916,600	1. 事務所費	84,834,061
2. 助成金	52,912,000	2. 選挙費	2,642,943
3. 受託収入	5,890,800	3. 事業費	0
4. 借入金	677,451,000	4. 借入金償還	5,326,608
5. 繰入金	0	5. 借入金償還	739,267,806
6. 繰入金	19,065,021	6. 繰入金償還	678,909,800
7. 繰入金	7,930,360	7. 推進費	2,334,381
8. 繰入金	3,639,501	8. 調査費	4,013,167
		9. 諸費	449,893
		10. 繰出金	20,811,000
		11. 徴収費	2,350,816
		12. 予備費	0
収入合計	1,544,805,282	支出合計	1,540,940,475

平成8年度一般会計収支予算

収入予算額 2,000,035千円
 支出予算額 2,000,035千円

(単位:千円)

収 入	予 算 額	支 出	予 算 額
1. 組合費	889,058	1. 事務所費	87,414
2. 助成金	54,190	2. 選挙費	3,056
3. 受託収入	16,686	3. 事業費	30
4. 借入金	126	4. 借入金償還	1,033
5. 繰入金	1,002,495	5. 借入金償還	854,227
6. 繰入金	80	6. 繰入金償還	1,004,259
7. 繰入金	34,158	7. 推進費	20,336
8. 繰入金	742	8. 調査費	8,648
9. 繰入金	2,500	9. 諸費	500
		10. 繰出金	14,784
		11. 財産管理費	2,126
		12. 徴収費	2,622
		13. 予備費	1,000
収入合計	2,000,035	支出合計	2,000,035

平成7年度牧之原畑地総合整備
土地改良区通常総代会

全議案とも原案どおり可決

通常総代会報告

平成7年度

平成7年度牧之原畑地総合整備土地改良区通常総代会が三月二十一日大井川農協島田支店大会議室において、総代八十名(定数百一名)の出席を得て開催されました。

総代会は原間副理事長の開会で始まり、岩村理事長が招集挨拶を行ったあと、来賓を代表して、大石千八衆議院議員をはじめ、県会議員、関係機関からの祝辞が述べられました。

続いて議長に榛原町の小関一郎総代を選出して議事に入り、承認十四議案を含む、上程二十五議案はいずれも原案どおり承認又は可決決定されました。

このあと、第一選挙区で欠員のあった役員補欠選挙も執行されました。

新役員紹介

喜瀬川武司監事(52才)
島田市阪本2228-1
初倉阪本茶農協組合長

新監事に

喜瀬川氏 当選

土地改良区役員であった第一選挙区(島田市)の池谷昭治監事が一身上の都合により辞任されました。

これによる補欠選挙を平成7年度通常総代会で執行することとしておりましたが、立候補者が定数を超えないため、喜瀬川武司氏が無投票で監事に当選されました。

今後のご活躍が期待されます。

審議された議案

監査報告

- 承 第一号 平成六年度事業報告書の承認について
- 承 第二号 平成六年度一般会計収入支出決算承認について
- 承 第三号 平成六年度管理費特別会計収入支出決算承認について
- 承 第四号 平成六年度借入金償還積立金特別会計収入支出決算承認について
- 承 第五号 平成六年度職員退職給与積立金特別会計収入支出決算承認について
- 承 第六号 平成六年度財政調整積立金特別会計収入支出決算承認について
- 承 第七号 平成六年度財産目録の承認について
- 承 第八号 平成七年度一般会計収入支出補正予算(第一次)専決処分承認について
- 承 第九号 平成七年度一般会計収入支出補正予算(第二次)専決処分承認について
- 承 第十号 平成七年度管理費特別会計収入支出補正予算(第一次)専決処分承認について
- 承 第十一号 平成七年度管理費特別会計収入支出補正予算(第二次)専決処分承認について
- 承 第十二号 平成七年度借入金償還積立金特別会計収入支出補正予算(第一次)専決処分承認について
- 承 第十三号 平成七年度職員退職給与積立金特別会計収入支出補正予算(第一次)専決処分承認について
- 承 第十四号 平成七年度長期債の改正について
- 第一号議案 平成八年度一般会計収入支出予算
- 第二号議案 平成八年度管理費特別会計収入支出予算
- 第三号議案 平成八年度借入金償還積立金特別会計収入支出予算
- 第四号議案 平成八年度職員退職給与積立金特別会計収入支出予算
- 第五号議案 平成八年度経費の賦課徴収の時期及び方法について
- 第六号議案 平成八年度市町助成金の受入れについて
- 第七号議案 平成八年度長期債について
- 第八号議案 平成八年度借入金について
- 第九号議案 平成八年度現金の預入先について
- 第十号議案 附帯決議
- 第十一号議案 国営事業計画の一部県営事業への移行について
- 報告第一号 役員補欠選挙について

国営事業

(牧之原農業水利事業)

大井川の用水が銘茶を育てること、牧之原台地に用水を供給することを、合言葉に昭和五十三年、工事に着手し平成九年度事業完了に向けて予定どおり計画は進行しています。

これもひとえに受益者の皆様、関係市町、改良区、県当局の御協力によりますことを心から御礼申し上げます。

国営事業の平成七年度迄の進捗率は約九十割に達しております。総事業費は約三百十八億円で七年度迄で二百八十五億円を投資しており、川口取水工及び牧之原揚水機場を初め、幹線水路の延長は約七・七キロ、支線水路七・七キロ、ファームポンド八カ所の工事を完成させました。

八年度予算は二十五億円で主要工事を全て完了

平成八年度の予算は二十五億円で主な工事は幹線水路では掛川幹線約一・六キロ、阪本幹線約〇・七キロ、菊川幹線約〇・一キロを実施します。支線水路では七・七支線約一・〇キロを実施します。さらにファームポンド三カ所を事業の主要工事は本年度をもって全て完了する予定です。

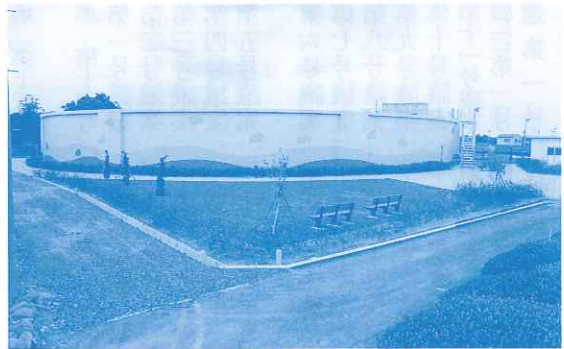
幹線水路全線に早期通水を完成しました幹線水路には一日も早く用水を通すべく努力しております。先五月上旬迄に相良幹線の最末端迄、さらに念願の阪本幹線の上流部迄に通水を完了しました。

菊川幹線及び榛原幹線につきましては本年度中に通水を最末端迄完了させる予定です。残る掛川幹線及び阪本幹線水路につきましては平成九年の四月中には通水をし、最末端迄大井川の用水を供給する予定です。

早ばつに対応する用水の安定供給を

近年地球の温暖化等により気象状況が大幅に変化をしようとしています。ここ牧之原台地におきましても早ばつによる連続早天が続いたことにより気温の上昇が続く茶の木も相当なダメージを受け受益地の農家の皆様には本当に大変な時期を迎えたと推察しております。

お茶の木は七月、八月に最



▲ 3号調整水槽の環境整備事業

も用水が必要な時期であり、この季節は雨も少なく高温となり、蒸発散量もピークを迎え茶の木も用水を本当に必要としています。

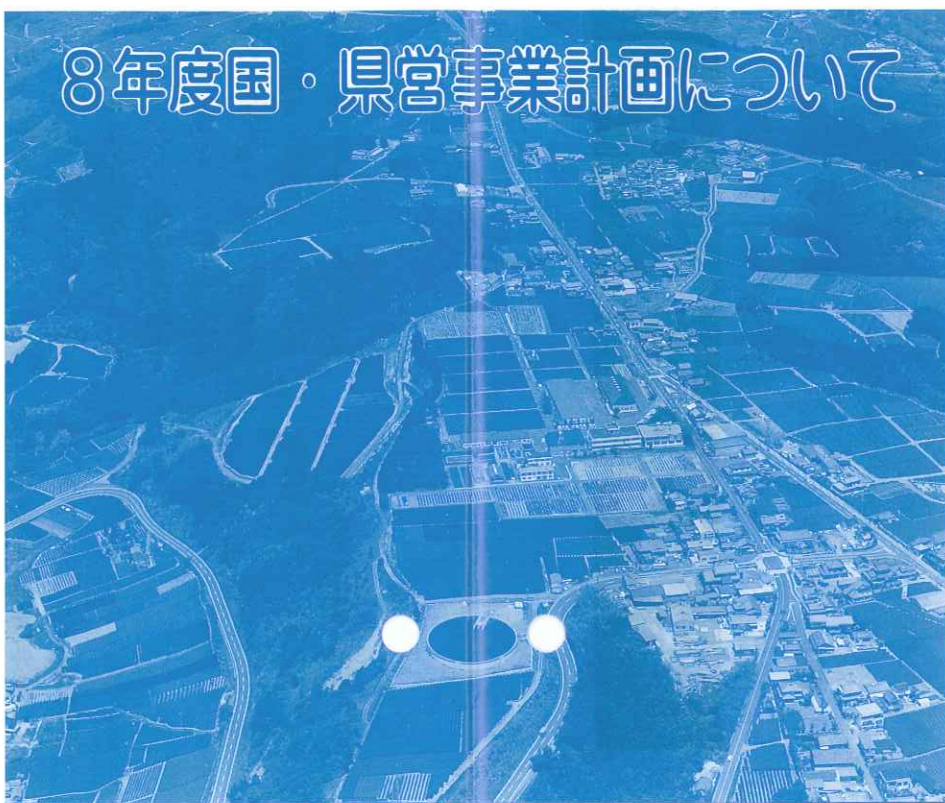
この為にも一日も早く末端の茶畑にスプリンクラーの設置が必要なのは言うまでもありません。

用水を安定的、かつ計画的に供給する為に、大井川の上

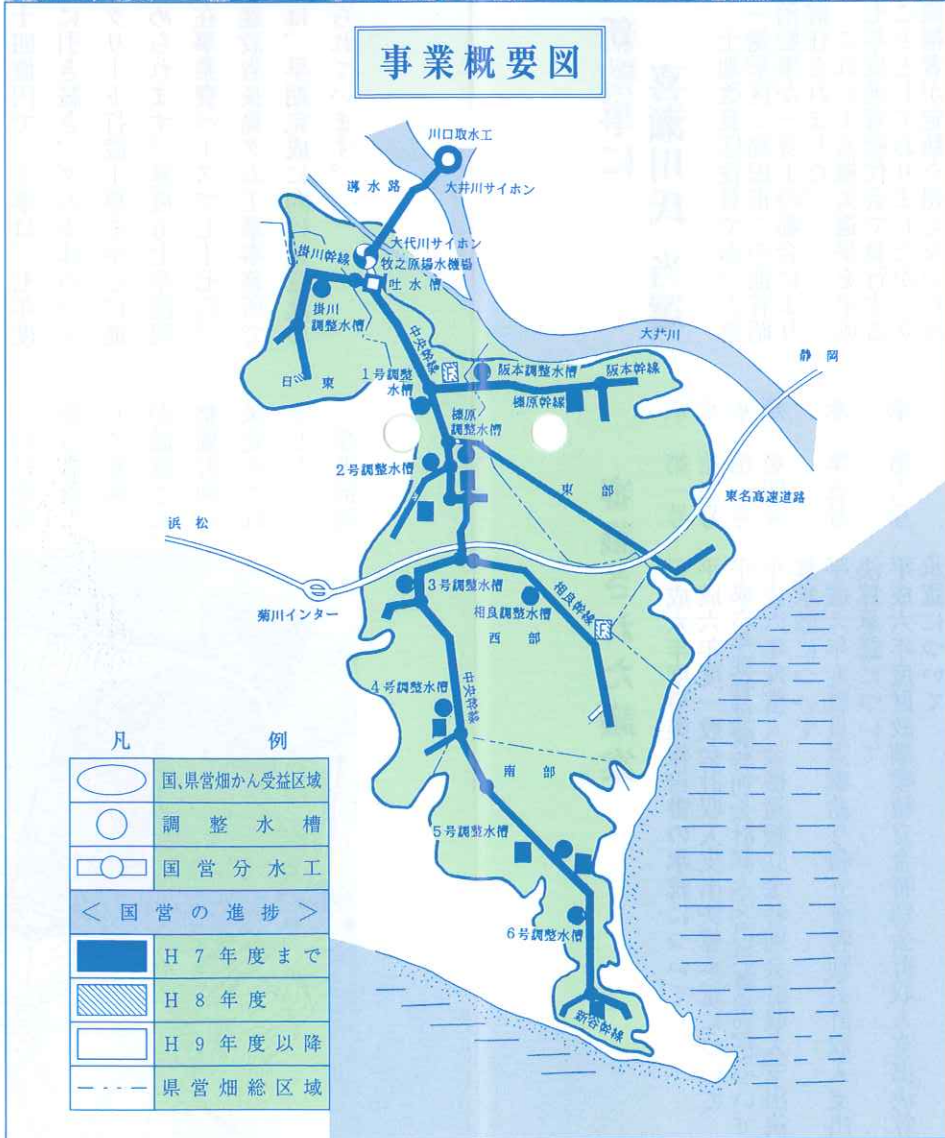
関係農政局
牧之原農業水利事業所

工事第一課長
杉山 公一

8年度国・県営事業計画について



事業概要図



凡 例	
	国、県営かん受益区域
	調整水槽
	国営分水工
< 国営の進捗 >	
	H 7 年度まで
	H 8 年度
	H 9 年度以降
	県営畑総区域

県営事業

(畑地帯総合土地改良事業)

二年続きの早ばつにかん水効果が

牧之原地区の県営畑総事業の推進について、関係各位並びに組合員の日頃の努力により事業進捗が平成七年度までの事業費で五十一割に達しました。

水利利用の状況から見ますと二年連続の早ばつによるお茶の樹勢に深刻な影響が心配さ

れる中で、水利利用を有効に使うことが、樹勢回復、病害虫、一番茶への効果が発揮されたとの報告があります。

平成七年度の補正、国債予算は四十二億円で実施

平成七年度の予算は前年対比百五十六割と大幅な増額となり、年度途中の補正予算のため、工事の一部を繰越して平成八年度に事業の実施をしています。

平成七年度事業内容は、畑かんではファームポンド十カ所、機場整備工一カ所、用水路二十二路線一五・六キロ、ポンプ施設工一カ所、機場工三カ所。

また、基盤では農道改良工二十一路線七・一キロ、舗装工六路線七・七キロ、排水路八路線二・三キロを実施しました。

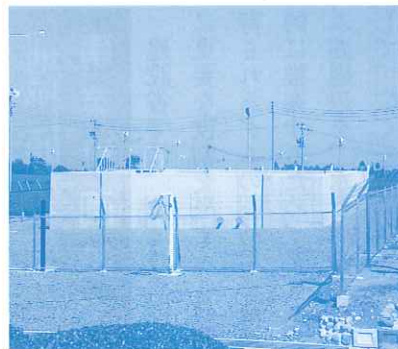


平成八年度の事業計画について

今年度は、前年度繰越工事と並行し、前金付国債及び国債予算を実施しています。

平成八年度は、四月当初の暫定予算及び本予算に国債分を合せて、二十二億六千万円でスタートしました。

工事予定は、現在、国債工事としてファームポンド四カ所、用水路四路線二・六キロ、末端工四〇・二キロ、また、基盤の農道改良工三路線〇・九キロ、舗装工二路線一・七キロを実施しています。



本予算は、畑かん施設のファームポンド十二カ所、用水路三、七五〇メートル、揚水機場上屋工二カ所、ポンプ工五カ所、末端工五十三ヘクタールを整備し、また、基盤は、農道改良工を十五路線二、九〇〇メートル、舗装工二路線一、八〇〇メートル、排水路一路線六〇〇メートルを整備する予定です。

今後の事業推進とお願いについて

国営事業の阪本、相良幹線用水路の通水が五月に可能となり、また、榛原幹線の夏の通水計画など県営末端施設の

整備を期待されているので、畑かん事業の実施をするに道路、排水路の整備を進めて、事業効果が有効的に機能するよう努めます。

さて、県では、事業の早期完了を目ざすと共に畑かん等の事業推進を図るため、計画変更について、皆様方に説明をすべく改良区の理事会、総代会に事務手続を進めているところです。

今後、事業計画書を取りまとめ、説明会を実施しながらご理解、ご協力をお願いする予定です。

また、本年度事業の畑かん施設のメニュー、用地確保、水利利用を図る給水スタンド位置など皆様の協力をお願いし施設の有効利用を積極的に図ってください。

静岡県
牧之原農業用水建設事務所
技監兼事業課長

戸田 雅美

県営事業の計画変更について

計画変更の 必要性について

現在実施中の県営畑総事業につきましては、昭和四十八年着工以来二十余年を経過し、概ね事業の五十割を実施しましたが、何分にも大規模な事業でありますので、着工時点と比べて事業の内容も事業費も大幅な変更を余儀なくされてきました。

また、このまま事業を進めるとしても、完了までにあと何年かかるのか見通しが困難な状況にあります。近年の早ばつや凍霜害の状況を考えますと、事業の早期完成が望まれているところであります。そのため、県と土地改良区では、事業の内容や推進方法を見直すほか、地区の再編成等を実施することによって工期の短縮を図り、事業効果の早期発現を期すべく、土地改良法に基づく事業計画の変更

を実施する予定で作業を進めております。

計画変更の 内容について

計画変更の内容ですが、事業内容の見直しでは、地元要望の強いもの、緊急度の高いものを優先実施し、緊急度の低いものは別途対応するなどして効率的な事業実施を図っていく予定です。

また、事業推進の方法については、現行の一般畑総事業から別途有利な事業への移行の可能性について検討中であり、更に、地区の再編成についても、現行の四地区から、市町単位の九地区に分割し、年度予算の増額や地区の早期完了を図ろうと考えております。

今後の予定について

今後のスケジュールとしては、計画変更作業を平成八年

度前半を目途に、十月以降に受益者への説明を行う予定としておりますが、説明会が終了しましたら変更の同意署名をよろしくお願いいたします。

なお、同意取得後は所定の手続きを経て変更計画が確定し、新しい事業内容で再スタートすることになりますので、組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

長島ダム建設事業

昭和五十二年度に着工された「長島ダム建設事業」も十九年目を迎え、ダム本体の姿が形づけられいよいよ工事は最終段階に入ってきました。

平成八年度の事業費は百三十四億円で、工事は、七年度に引き続き、ダム本体のコンクリート打設工事を中心に進められます。進度も七年度現在事業費ベースで七十七割。建設省長島ダム工事事務所では、早期完成に向け鋭意進められています。

「地域に開かれたダム」 事業計画策定

建設省では、地域の活性化に重要な役割を果たすことが期待されるダムの利活用を積極的に推進するため、ダムやダム湖周辺を、水と緑の空間として、広く一般に開放し、多くの人達に余暇活動の場として提供することとし、「地域に開かれたダム」事業として指定を行っています。

平成七年四月に長島ダムが指定を受け、長島ダム地域整備協議会（岩村理事長は委員として参画）が設置され、整備計画の策定がされました。



としては、ダム記念館、イベント広場、売店、レストラン、露天風呂、キャンプ場、また平成十五年の国体開催に向けカヌー競技場等が建設される予定です。

平成八年度から五カ年計画で実施され、ダム本体の機能と共に、地域に親しまれる施設となるよう期待されています。

表彰

和副理事長

知事表彰を受賞

県は平成七年十月二十一日平成七年度の知事表彰を発表しました。これは、地方自治や教育芸術文化スポーツ、産業振興等で長年に亘り、中心となって活躍された方を表彰するもので、平成七年度は、四十五名が受賞されました。このうち、産業開発振興功労の部門で当土地改良区副理事長の和田秀雄氏はこの度、茶業振興への功労が認められ、知事表彰を受賞されました。

大塚理事に

勲四等瑞宝章の栄

本年春の叙勲、褒章で掛川市の大塚理事は、地方自治への功績を称え勲四等瑞宝章の栄に浴されました。

県土連功労者表彰に

土改良区理事三氏輝く

去る三月十九日に開催されました県土地改良事業団体連合会総会におきまして、島田市の柴田照二理事、富永努理事、浜岡町の佐藤清理事の三氏が多年に亘り土地改良事業への功労が認められ、功労者表彰の栄に浴されました。

受賞されました皆様にはお慶び申し上げ、今後とも豊富な見識をもってご指導下さいますようお願いいたします。おめでとうございました。

平成七年度水使用状況について

平成七年度を振り返りますと茶の摘採期前にして降雹に見舞われ、夏場の記録的少雨、高温が続き二年連続の早ばつとなりまさに異常気象を象徴する年となりました。組合員の皆さんも昨年の苦い経験により茶樹に対するかん水の必要性を充分理解して戴いており、各地区より畑かんの実施要望が高まり平成六年度秋以降、県営事業により畑かん施設の末端整備を中心に進め、平成七年度には新たに九つの工区に通水が実施されました。水使用の状況につきましては、暫定給水スタンドについては、末端施設が整備されたため三箇所を廃止し、国営新谷幹線に新たに一箇所新設し、十三カ所で六三、三二〇トンの使用量となり、昨年と比較すると一七、〇九〇トンの増となつています。

(単位 m³)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
給水スタンド		1,456	614	2,643	2,165	20,630	25,969	3,268	4,346	896	—	—	1,333	63,320
ファームボンド(組合)		54,306	4,701	17,875	20,517	273,072	246,587	14,963	20,103	12,781	7,434	8,759	8,375	689,473
内訳														
島田市		91	6	199	156	2,161	3,374	479	1,298	144	11	0	241	8,160
金谷町		33,383	2,498	8,521	9,000	93,040	65,553	2,283	4,066	8,896	4,022	2,892	4,159	238,313
榛原町		3,731	134	600	421	16,461	24,720	1,418	4,957	335	108	136	335	53,356
相良町		273	105	537	524	4,396	5,307	909	1,511	270	210	279	415	14,736
御前崎町		—	—	—	—	1,690	6,424	155	65	278	47	11	464	9,134
掛川市		12,995	412	3,968	2,747	77,017	62,905	1,580	1,120	607	1,768	4,526	653	170,298
菊川町		3,226	1,162	2,443	6,898	66,366	64,231	6,433	4,138	1,636	1,130	557	1,102	159,322
小笠町		239	176	986	359	2,133	3,175	943	2,546	423	44	57	432	11,513
浜岡町		368	208	621	412	9,808	10,898	763	402	192	94	301	574	24,641
国・県営試験通水		3,312	841	1,016	0	12,084	1,724	1,329	1,344	2,802	0	4,530	1,575	30,557
合計		59,074	6,156	21,534	22,682	305,786	274,280	19,560	25,793	16,479	7,434	13,289	11,283	783,350

限りある水源
有効な水利用を!

牧之原農業用水の水源は、長島ダムが完成するまでの間に、既存の井川、畑雑ダム水源に依存しています。ところが現状の「カラ梅雨現象」から、これから本格的な夏場を迎え、昨年同様今年も厳しい状況が心配されます。本年三月まで続いた「少雨状況」も下旬には、一旦平年並みに回復されたものの、四月に入り平年値の二十五割(水源地点)と降雨がなく、五月になつても六十三割と回復までは至りませんでした。これは、六月の梅雨時期になつても回復傾向がみられず、六月十八日現在でも平年値の四十一割まで下がりました。そのため、大井川水系の関係機関からなる大井川水利調整協議会では、六月十八日正午より十日の節水に入り、また、十九日以降にまとまった降雨があり、事なきを得ました。このようになるべく利用者に影響を少なくするため、必要な都度会合を開き、「節水」などの対応を図っています。

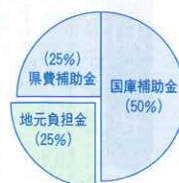
牧之原農業用水もこの協議会の決定事項に添い、必要なときは「節水」をすることにります。

組合員の皆様におかれましては、水利用に当たっては、「限りある水」であることを再認識され、有効な水利用をされるようお願いいたします。

平成八年度
地元負担金の納入期日は
九月三十日まで

平成八年度地元負担金納入についてお願い
去る三月二十一日開催の平成七年度通常総代会において地元負担金の納入期日が九月三十日に決定されました。

県営畑造事業の地元負担金は、工事費の四分の一です。畑造事業(農道・排水路・農地造成・畑地用水)の工事費は国五十割、県二十五割、残り二十五割は地元負担金として組合員の皆さんに負担していただくこととなります。



地元負担金は、公庫の融資及び市町の部分助成があります。工事費の二十五割の地元負担金を一度に支出することは、組合員にとつて大きな負担となりますので、土地改良事業では、国の出資する「農林漁業金融公庫」から低金利の借入れをしています。

本年度の地元負担金も全額この借入金の償還に充てます。また、このほか関係市町では、事業の促進と組合員の負担軽減を図るため、事業工種により助成をしています。

この事業を円滑に推進するために、定められた期日まで是非納入されるようご協力をお願いいたします。

平松さんは、土地改良区会計全般を担当し、出納業務の確かな経理にご尽力されました。長い間ご苦勞様でした。

また、本年四月から、多様化する事務処理に対処するため、フレッシュな持塚久美子嬢を新規採用し、事務局の運営に万全を期しています。